

令和2年度 事業報告書



 社会福祉法人鯨ヶ沢町社会福祉協議会

< 目 次 >

目 次	1
本会の組織	2
会務の運営	3
地域福祉の推進	4～9
町委託・補助事業	10～18
介護保険事業	19～23
障害者支援事業	24～27
在宅福祉事業	26～35
総合保健福祉センター管理 経営/西津軽郡社会福祉協議会	36～38

＜本会の組織＞

（令和3年3月31日現在）

【役員】 12名

会 長	平田 衛	副 会 長	奈良 正樹
常務理事	齋藤 博		
理 事	一戸とも子	井上 雅哉	川野 良一
	神 直美	豊沢 豊彦	成田 勝義
	三ツ谷 榮子		
監 事	鈴木 孝俊	工藤 八子	

【評議員】 14名

天野 せつ	生田 光子	市前 孝志	大澤 雅子
川村 孝淳	菊谷 忠光	坂牛 哉子	佐藤都士子
茶谷 貞悦	中嶋しめ子	山田 正勝	神 広文
成田 弘人	齋藤 光弘		

【事務局長】

井上 雅哉（地域福祉・在宅福祉課長事務取扱）

理 事・監事・評議員

任期：令和2年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

【総務課】 3名

齊藤 誠（課長兼法人係長事務取扱） 三浦 美由紀（経理係長） 田附 和輝
 主な業務：法人会務 財務会計 共同募金委員会 センター管理など

【地域福祉課】 7名

世永 千晴（課長補佐） 高木 芙美子 神 幸 森山 成美 石岡さつき 安田 彩
 長谷川 愛
 主な業務：権利擁護センター事業 支部事業 福祉安心電話 委託事業全般 配食サービス事業
 たすけあい・生活福祉資金貸付事業 など

【在宅福祉課】 11名

主な業務：介護保険事業 障害サービス事業

・在宅福祉係

（通所）

葛西 真紀 対馬 貴子 豊澤 千秋 太田きよえ 今 めい子 古坂 彰浩

（訪問）

世永 美月

・居宅介護支援係

佐々木 明美 小野 克子 澁谷 吏

○短時間労働者（1名）

配食サービス事業配達員 1名

○理事会 理事の定数 8名以上10名以内

任期：令和元年6月19日から令和2年度会計に関する定時評議員会の終結まで

(全3回開催) 出席率86.8%(前年比△10.7%) ※過半数以下の出席者0名

第132回 理事会 令和2年 6月10日 水曜日 議案第1号から議案第7号まで原案どおり議決

第133回 理事会 令和2年12月15日 火曜日 議案第1号から議案第3号まで原案どおり議決

第134回 理事会 令和3年 3月19日 金曜日 議案第1号から議案第9号まで原案どおり議決

○評議員会 評議員の定数 11名以上15名以内

任期：平成29年4月1日から平成32年度決算に係る定時評議員会の終結まで

(全3回開催) 出席率71.4%(前年比2.5%増) ※2回欠席3名

第85回 評議員会 令和2年 6月26日 金曜日 議案第1号から議案第3号まで原案どおり議決

第86回 評議員会 令和2年12月24日 木曜日 議案第1号を原案どおり議決

第87回 評議員会 令和3年 3月30日 火曜日 議案第1号から議案第3号まで原案どおり議決

○監査会 監事の定数2名

任期：令和元年6月19日から令和2年度会計に関する定時評議員会の終結まで

令和元年度会計に関する監査会開催 令和2年5月15日 金曜日

※理事会及び評議員会出席(全7回)

<評議員選任・解任委員会> ※4名の辞任に伴い開催

令和2年度開催回数 1回 令和2年6月15日(月) 14時から 評議員3名を選任

《地域福祉の推進》

社協会費、赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金の配分金をもとに、地域の実情の沿った福祉活動を行いました。





<地域福祉の推進>

◆小地域福祉活動事業

社協会費、赤い羽根共同募金、地域歳末たすけあい募金の配分金をもとに、地域の実情に沿った福祉活動に伴う活動費を助成しました。

○社協会費と募金等の実績○ (R3.3.31)

	社協会費 (500円)	赤い羽根 (学校・県共舎)	地域歳末
H30年	1,646,500	1,359,308	1,151,388
H31年	1,630,000	1,822,246	1,106,950
R2年	1,615,500	1,487,674	1,094,050

◆社協会費地区別実績◆

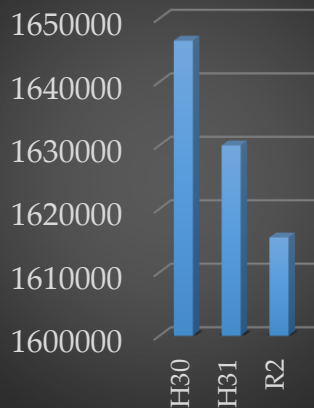
	鯉ヶ沢	舞戸	鳴沢	中村	赤石	南金沢
世帯数	791 (△11)	1,009 (+5)	479 (△1)	390 (△3)	300 (△10)	313 (△7)
金額	377,000	496,000	240,500	195,000	150,000	157,000
備考	町内会によっては定額の所もあり、世帯数と金額にズレは生じます。					

(一般募金内訳：窓口1,466,039円・県共募5,000円・学校募金16,635円)

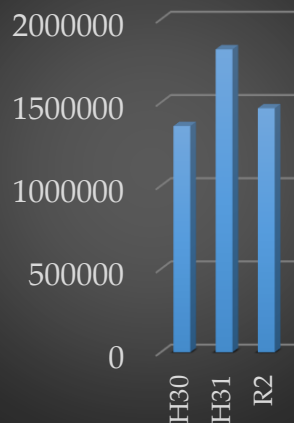
< 会費等町内会からの納入率 >

地区	社協会費	赤い羽根	地域歳末
鯉ヶ沢	80%	80%	93%
舞戸	100%	95%	91%
鳴沢	100%	100%	100%
中村	42%	64%	64%
赤石	100%	100%	100%
南金沢	63%	57%	60%

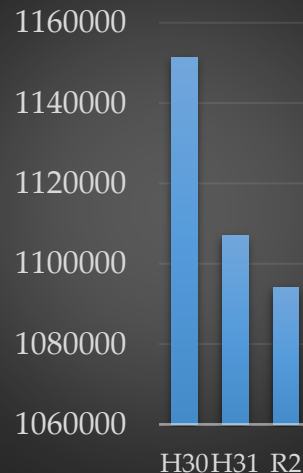
社協会費



赤い羽根



歳末たすけあい



◆小地域福祉活動事業

◆支部役員数 ※（ ）内は、前年度の比較

合計225名（△12名） 3月31日

鰺ヶ沢	舞戸	鳴沢	中村	赤石	南金沢
56名 (△1名)	36名 (△1名)	30名 (△1名)	49名 (+1名)	26名 (△1名)	28名 (△9名)

退任の主な理由：加齢 体調不良

< 支部小地域福祉活動実施計画申請状況 >

	ふれあい訪問		いきいき福祉のまちづくり事業			おせち料理配会食事業		支部研修事業
	弁当なし	配食訪問	地域をきれいに する活動	ふれあい 交流会	その他の事業	おせち弁当	おせち弁当 と会食会	
鰺ヶ沢支部	○	○	○	○	○	○	○	○
舞戸支部	○	—	○	○	—	○	○	—
鳴沢支部	○	—	○	○	—	○	○	○
中村支部	○	○	○	○	○	○	○	○
赤石支部	○	—	○	○	—	○	○	○
南金沢支部	○	○	—	○	—	—	○	—

☆おせち弁当 ⇒ 社協が一括して購入した食料品を、6支部で対象者に配布⇒



◆小地域福祉活動費助成金交付状況◆

<財源> 社協会費・共同募金（歳末）

支部名	鰺ヶ沢支部	舞戸支部	鳴沢支部	中村支部	赤石支部	南金沢支部
申請額	478,000	80,000	197,000	301,800	179,000	92,200
支部活動運営費（交付）一律同額	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
交付額（合計）	282,000	30,000	183,000	122,400	174,000	99,800

※令和元年度の活動実績を基に、令和2年度の申請内容を精査し助成額を決定しました。（未実施の事業で、次年度も申請した場合は助成金はなし）

<財源> 共同募金（一般募金・歳末募金）・社協会費

ほのぼの交流協力員とは・・・独居高齢者のみならず、高齢者世帯・障がい者世帯など、地域で気がかりな方々の自宅訪問や見守り活動をおこない、気になること（認知症・虐待の疑いなど）を発見した際には、本会へつなぐ役割があります。

新型コロナ感染症対策支援緊急活動
助成事業（財源：赤い羽根共同募金）

5月に見守りを兼ねてお米（5合）
を配布する。⇒ 639名分

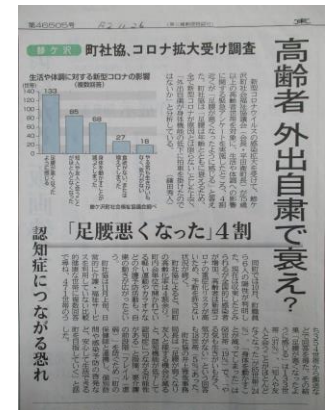


○ほのぼの交流協力員数（R3.3.31） 225名（－4名）

見守り訪問世帯634世帯（＋38世帯）



11月に福祉サービスを利用して
いない75歳以上471世帯を
対象に健康確認など調査を実施
足腰が弱くなったように感じる
が133名で最も多く、回答が
あった。また、知人などとの
交流・体を動かす機会の減少
が数多く見られ、コロナ禍の外出
自粛の影響だけでなく、加齢に
よる心身機能の低下も調査結果に
現れた。



鯉ヶ沢地区	舞戸地区	鳴沢地区	中村地区	赤石地区	南金沢地区
5・9・11月	5・9・11月	5・9・11月	5・9・11月	5・9・11月	5・9・11月
物 品：アルコールウェットシート、お米（5合）			（総数：1,146個）		

◆ボランティア推進校事業 3校（小学校2校・中学校1校）

<財源> 共同募金（一般募金）

小中高等学校の児童生徒へのボランティア活動の実践と社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域社会への福祉啓発を図ることを目的に実施しました。（※鰯ヶ沢高等学校は申請なし）

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で交流活動の中止など内容は縮小していますが、各校工夫を凝らしながら実施していました。

学校名	生徒数	申請額	交付額	活動内容
舞戸小学校	207名	60,000円	60,000円	ボランティア委員会活動、募金・収集活動（空き缶、古紙、プルタブ）、あいさつ運動、環境緑化活動、漂流ごみ調査、プレゼントカレンダー作成及び贈呈、校内花壇整備
西海小学校	91名	60,000円	60,000円	募金・収集活動（主にJRC委員会が主となり全校児童への呼びかけ）、花壇整備（全校児童）、敬老の日絵手紙・新年会手紙交流会
鰯ヶ沢中学校	181名	35,200円	36,000円	ボランティア体験活動（募金、収集活動、 職場体験 ）

<舞戸・西海小学校の様子>



令和2年9月28日（月）から29日（火）の2日間、3年生5名が職場体験しました。



◆社協だより「ふれあい」発行事業（情報提供・発信の充実）

9

＜財源＞共同募金（一般募金・歳末募金）・社協会費

 <http://ajisyakyo.justhpbbs.jp>

福祉サービスに関する適切な情報が得られるよう、情報提供の充実を図りました。

○社協だより「ふれあい」発行

社協の役割や事業など福祉啓発の推進を図るため、年4回（6月・10月・1月・3月）発行しました。

OSNSの活用

ホームページ・Facebook・Instagramを随時更新し、最新の情報を提供する
ほか社会福祉法に基づき法人運営に関連する情報開示を行いました。



◆鯨ヶ沢町地域福祉推進大会

令和2年度の「鯨ヶ沢町地域福祉推進大会」は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止となりましたが、福祉功労者等の顕彰と

「ふくし作文・絵コンクール」に伴う表彰審査会で会長表彰者とコンクールの最優秀賞等が決まりました。

○令和2年度 鯨ヶ沢町社会福祉協議会会長表彰者（10名）

山中 信幸 山川 むつ子 兼平 文江 神 幸 三浦 美由紀 世永 千晴 世永 美月
佐々木 明美 石岡 さつき 葛西 真紀

○ふくし作文コンクール○（応募総数：22作品）

○ふくし絵コンクール○（応募総数：25作品）

【小学生低学年】

佳作：佐藤 光々瑠（さとう こころ） 舞戸小3年

【小学生高学年の部】

最優秀賞：工藤 暖大（くどう ひなた） 舞戸小4年

優秀賞：川越 瑞月（かわごえ みづき） 舞戸小4年

【中学生の部】

最優秀賞：神 穂花（じん ほのか） 鯨中1年

優秀賞：齊藤 柊（さいとう しおり） 鯨中2年

優秀賞：井上 雅斗（いのうえ まさと） 鯨中2年

新岡瑛馬さん「おばあちゃんとぼく」



【小学生低学年の部】

最優秀賞：新岡 瑛馬（にいおか えいま） 西海小1年

優秀賞：工藤 悠斗（くどう ゆうと） 西海小1年

佳作：菊池 絢斗（きくち あやと） 西海小2年

佳作：神 李子（じん りこ） 西海小1年

【小学生高学年の部】

優秀賞：世永 千尋（よなが ちひろ） 西海小4年

《町委託・補助事業》

◆福祉安心電話サービス事業（緊急通報体制整備事業）（委託料：1,524,000円）

24時間体制で対応する福祉安心電話の設置により、緊急事態等に対応し福祉安心電話協力員及びほのぼの協力員による見守り活動を実施しました。

・新規設置 6台（＋1台）
理由：一人が不安 孤独死予防など

・退会（取り外し） 8台
（死亡2名・入所6名）

・設置台数（合計） 51台（△2台）
（令和元年度53台）

・協力員数：149人（△10名）
＜内訳＞
民生委員・町内会長・近隣の知人・
身内（兄弟・子供）など

実施状況

毎月1日と15日は電話を利用してもら
うよう促すほか、年1回は自宅を訪問し
協力員のデーター確認と機器のメンテナ
ンス（電池交換）を実施した。



＜通報等の状況＞ ※県社協受信分を含む

着信状況	件数	対応状況	件数	着信状況	件数	対応状況	件数
緊急 ボタン	15件	救急車・協力員要請	3件	停電通報	32件	協力員要請	6件
		その他（誤報など）	12件			【原因】 雷・雪・電力工事・コンセント 抜け落ち・ブレーカー関係など	
相談	20件	定期連絡	11件	その他	4件	故障通報	3件
		バス予約など	9件			電池切れ	1件

◆生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業 (委託料：5,600,000円)

生きがい・介護予防につながるよう、更には地域住民同士のつながりを深めることができるように、「ふれあいの場」づくりを中心に事業を実施しました。

◎生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

○ふれあいの場の立ち上げに関する相談、申請等の支援

前年度から活動している団体を訪問し「ふれあいの場」への移行について相談・情報提供をしていた5か所のうち、令和2年度は1か所を開設しました。

①新田ほのぼの会（新田）新田町集会所 開設年月 令和2年6月



残り4か所（浜町地区・長平地区・南浮田地区・芦荻地区）については、コロナウイルス感染拡大を理由に今年度の開設は見送りとなりましたが、継続して開設に向けた相談を実施しました。

現在の設置状況：17地区（東町・館・岩谷・新田・小夜・本町・大和田・漁師町・赤石・種里・一ツ森・中村・中下・浜横沢／長間瀬・鳴沢駅前／保木原・小屋敷・建石）

○高齢者ふれあいの場を定着・継続させるための支援

活動のマンネリ化を防ぐために、軽スポーツの導入を提案。数か所に体験してもらい、「楽しく認知症予防につながる」と声があり、担当課へ報告しました。

○研修会及び会議への出席

令和2年8月 7日（金）青森市「生活支援コーディネーター情報交換会」

令和2年8月19日（水）・9月16日（水）鯉ヶ沢町中央公民館「地域ケア推進会議」

令和3年2月17日（水）鯉ヶ沢町中央公民館「鯉ヶ沢町高齢者ふれあいの場代表者会議」

◆安心お出かけバス運行事業 (委託料：3,995,000円)

※令和2年度で終了

目的：中山間部の高齢者等を中心に、生活の安定と見守りへの取組として実施する。

(利用方法) 事前の登録と、利用前日までに予約



<見守りの状況>

鯉ヶ沢地区	4名
舞戸地区	2名
赤石地区	10名
中村地区	2名
鳴沢地区	1名

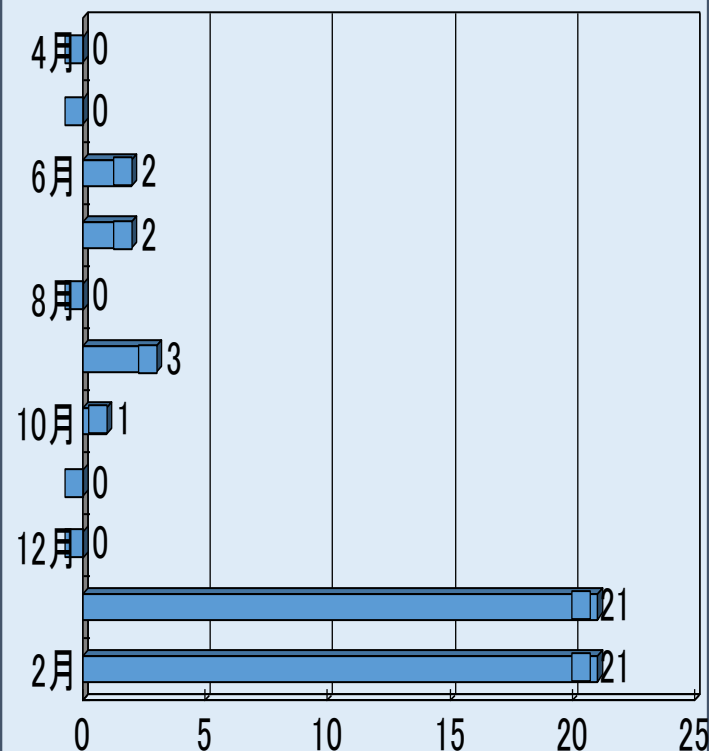
<登録者19名> △3名

利用延べ人数
544人 (+52名)

種類	内 容	件数
訪 問	登録者に対しバスの運行時、自宅を訪問して状況を確認する。	7件
電 話 連 絡	3週間以上利用が無い場合や予約を忘れそうな方への電話連絡	24件
登録者以外	地域で気になる方や運行時に情報を収集し訪問など実施した	11件
その他	訪問や電話による相談対応など	7件

◆福祉バス運行事業◆

(1時間あたり：3,000円)



※コロナの影響で予約のキャンセル多発

1月～2月にかけて「買い物支援バス運行」

【運行回数】

R1 (130回) ⇒ R2 (50回)

◆多機関の協働による包括的支援体制構築事業

(委託料：11,970,000円)

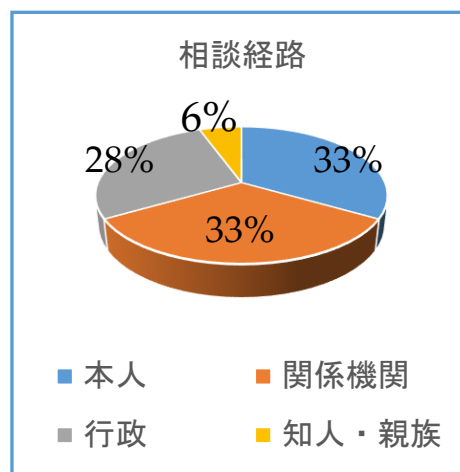
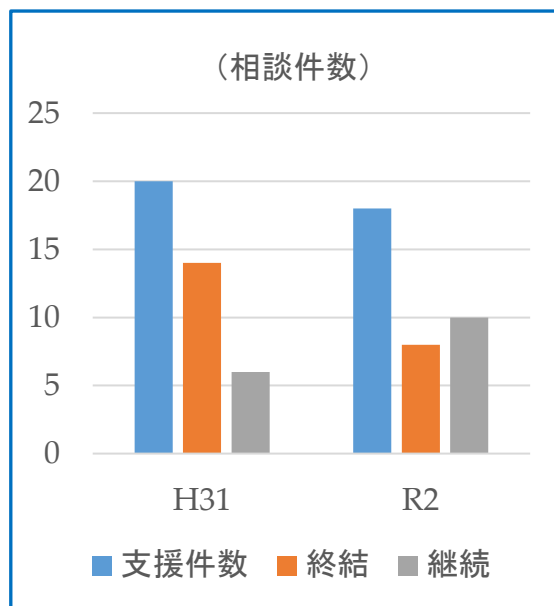
経済的問題や家庭、健康上の問題など、複合的な課題を抱える相談者へ、分野（児童、高齢、障がいなど）を問わず包括的に相談支援がおこなえるように取り組みました。

◎相談者等に対する支援の実施（令和2年4月から令和3年3月まで）

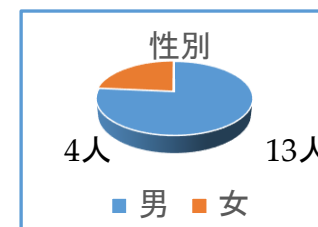
・支援件数：18件（新規：17件・昨年度より引き続き：1件） ○**終結8件・継続10件**

【主な相談概要】

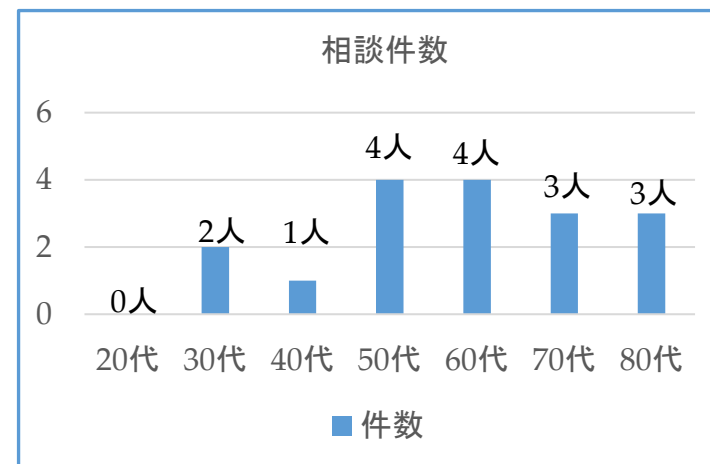
収入・生活費：5件、病気・障害：14件、債務：6件、権利擁護：9件、仕事・就職：5件、住まい（住む場所）：8件、家族関係1件 ※重複あり



※約61%は、行政及び関係機関からの相談。



※前年度の割合が半々だったが、令和2年度は男性の割合が多くなっている。



◎相談支援包括化推進会議の開催

※関係機関相互の理解促進・支援体制の構築に向け、互いの連携強化のため開催

第1回：令和2年 9月28日 月曜日 出席者11名

会場：舞戸公民館 大ホール 10時00分～

第2回：令和3年 3月 5日 金曜日 出席者14名

会場：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室 13時30分～

**【参集範囲】**

法テラス、町商工会、ハローワーク、鰯ヶ沢病院、行政：学校教育課（学校教育班）ほけん福祉課（介護保険班・地域包括支援センター・子ども家庭班・母子支援センター・福祉班）、町民協、福祉事務所、生活困窮者自立支援相談窓口 [※各関係機関の担当職員が出席](#)

◎あんしん相談窓口開設の周知・・住民への周知（社協広報、広報あじがさわにて）*** 外部研修会への参加等 *****【地域共生社会の実現に向けた情報交換会】**

日程：令和2年8月6日 研修地：青森市 参加者：本会職員1名

◆配食サービス

(収入) 1,549,200円－(支出) 1,095,635円＝453,565円

○生活支援サービス事業

※実績に基づき町からの補助金 855,900円

16

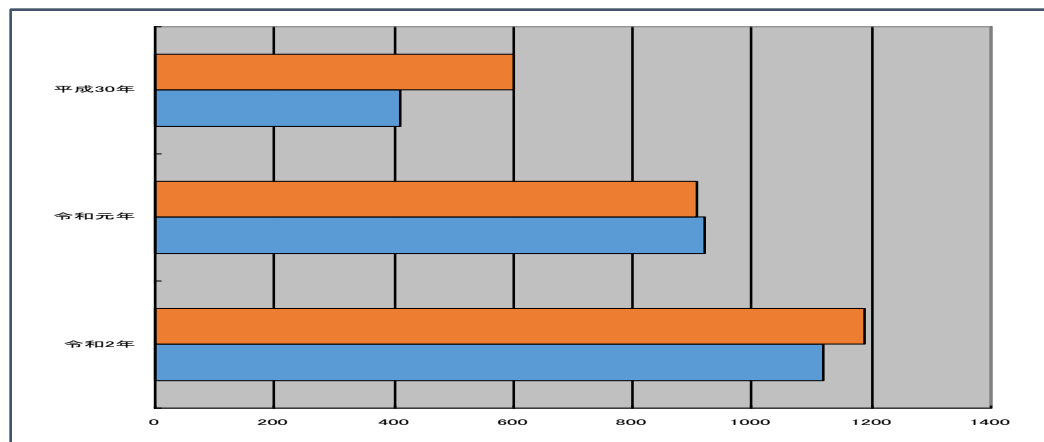
高齢者及び障がい者等を対象に、保温容器を使用し食事を提供しました。また、安否確認のため手渡しを基本とし、異変があれば関係機関への情報提供を行いました。

＜補助対象者状況＞

- ・継続者 7名 ・新規者 4名
- ・解約者 4名 (死亡2件・入所1件・介護利用1件)
- ・登録者 7名 (3月31日付)

＜補助対象外者状況＞

- ・継続者 2名 ・新規者 0名
- ・解約者 0名
- ・登録者 2名 (3月31日付)



＜配達実績＞

	昼食	夕食
H30	600食	411食
H31	908食	922食
R2	1,190食	1,121食
差異	+282食	+199食

◆その他 (生活困窮者等への配食: 自主事業により町補助対象外)

経済的な困窮により一時的に食事が確保できず、生命の維持に危険性をおよぼす恐れがある方や引きこもりにて安否確認などが必要な方に対し、フードバンク事業と併用し食料の確保や無料で配食を提供する取り組みをしています。

※令和2年度の利用者は0名でしたが、次年度以降も引き続き必要な方へ提供していきます。



1食 ⇒ 300円

◆地域力強化推進事業 「地域の様々な相談の受け止め・地域づくり事業」 (令和2年度より町委託事業 委託料：2,510,000円)

地域住民が抱える福祉ニーズが多様化・複雑化してきているため、子ども・高齢者・障がい者を含む全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け取り組みました。

☆2つの目的（キーワード：「住民に身近な圏域」）

- ①地域住民等が主体的に地域生活の課題を把握し解決を試みることができる**環境を整備**。
- ②地域生活の課題に関する相談を包括的に受け止める**体制の整備**。

①環境の整備

○令和2年度はモデル地区として舞戸地区を対象にした。

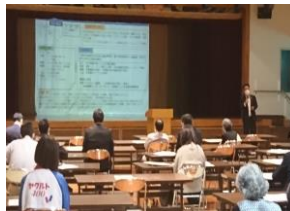
- 目標：1. 地域づくりフォーラムの開催
2. 見守りネットワーク推進会議の開催

令和2年9月28日（月）10時00分～11時30分

○地域づくりフォーラム○

「鰯ヶ沢町地域共生社会の実現に向けた研修会」

舞戸地区町内会長・鰯ヶ沢警察署
舞戸駐在所・宅配業者
町会議員（舞戸地区選出）
舞戸支部役員・ライフライン業者など
48名が参加



○見守りネットワーク推進会議○

令和2年度は、地域住民の気づき・見守りの必要性和権利擁護支援について6地区で開催。
題「見守りと権利擁護研修会」



6地区 合計参加者 90名

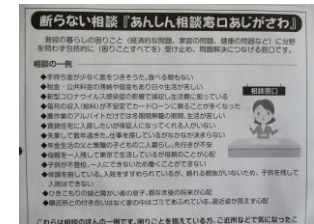
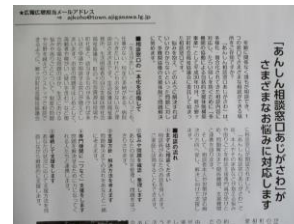
②体制の整備〈令和2年度の取り組み〉

①社協に、「あんしん相談窓口あじがさわ」を設置。

- ・地域住民の相談を包括的に受け止める場の整備

②「あんしん相談窓口あじがさわ」を周知

- ・広報あじがさわ7月号・社協だより3月号で紹介



③地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期発見

- ・6地区の研修会と連携

◆福祉事務所未設置町村による相談事業 （令和2年度より町委託事業 委託料：5,000,000円）

福祉事務所を設置していない町村において、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、県との連絡調整、自立相談支援事業の利用勧奨その他の必要な援助等を行うことにより、生活困窮者に身近な行政機関における支援体制の構築に取り組みました。

【主な内容】

- ①県が設置する、自立相談窓口を利用しやすいよう地域の実情を知る相談員を配置。
- ②複合的課題に包括的・一元的に対応する窓口を設置（一次的な相談支援等）
- ③県と連携調整・サポート

【相談支援など】

相談内容（複数の課題あり）6件（連携先：自立支援西北窓口⇒5件 福祉事務所⇒1件）

- ・収入はあるが使い方に問題があり、家計改善支援の利用 ⇒ 1件
- ・収入が減少し家賃の支払いが出来ないことから住居確保給付金の相談 ⇒ 1件
- ・無職で生活が苦しい等の理由から、就労支援の利用 ⇒ 3件
- ・収入がないため生活保護申請 ⇒ 1件

単独の相談内容

- ・就労したいが見つけれないため就労支援 ⇒ 1件
- ・収入が減少し家賃の支払いが出来ないことから住居確保給付金の相談 ⇒ 1件
- ・コロナの影響により収入が減少したため、他の制度の利用を提案 ⇒ 3件

生活福祉資金特例貸付

- ・新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口）⇒ 16件（うち、2件は不承認）

※貸付後も、生活状況の確認を行いました。

〈支援調整会議に出席〉

全3回に出席し、各関係機関への情報提供や情報の共有により、緊密な連携を務めた。

- 【令和2年7月8日（水） 令和2年9月15日（火） 令和3年2月22日（月）】 ●

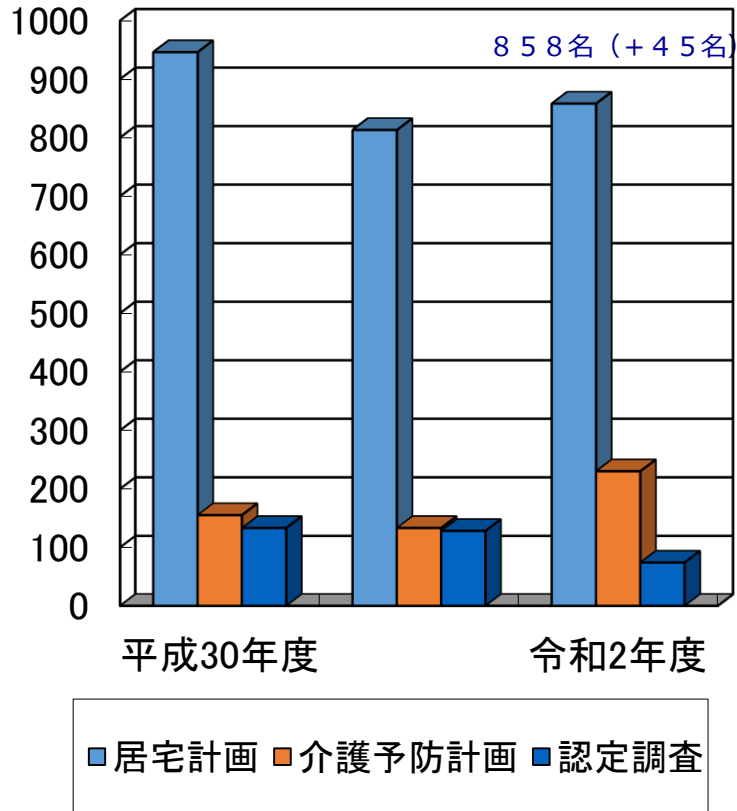
《介護保険事業》

◆居宅介護支援事業 (収入) 14,351,010円－(支出) 11,800,489円＝(差額) 2,550,521円

【内容】

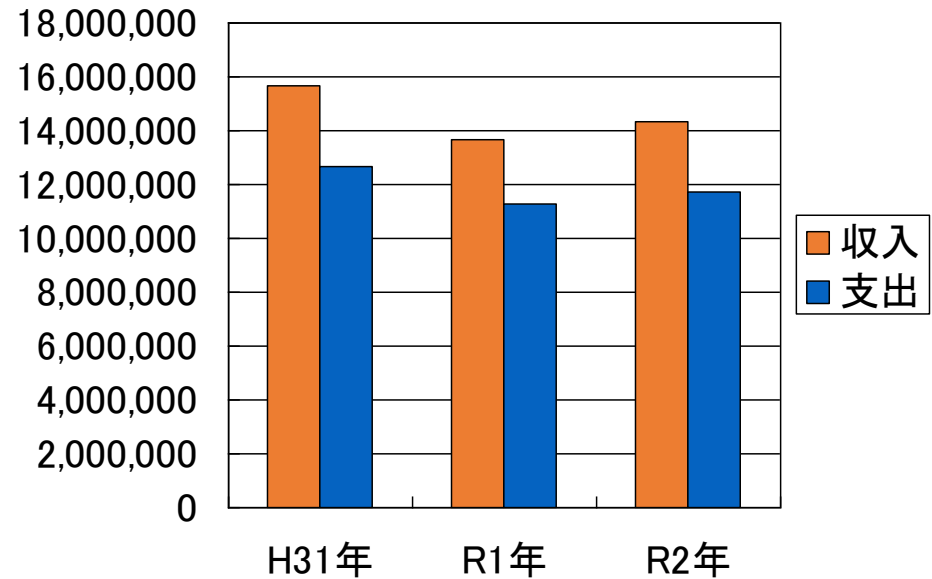
在宅で暮らしたい希望を尊重して、在宅生活を過ごす中で不足する介護保険サービスのマネジメント（調整）を行いました。

(単位：延べ人数)



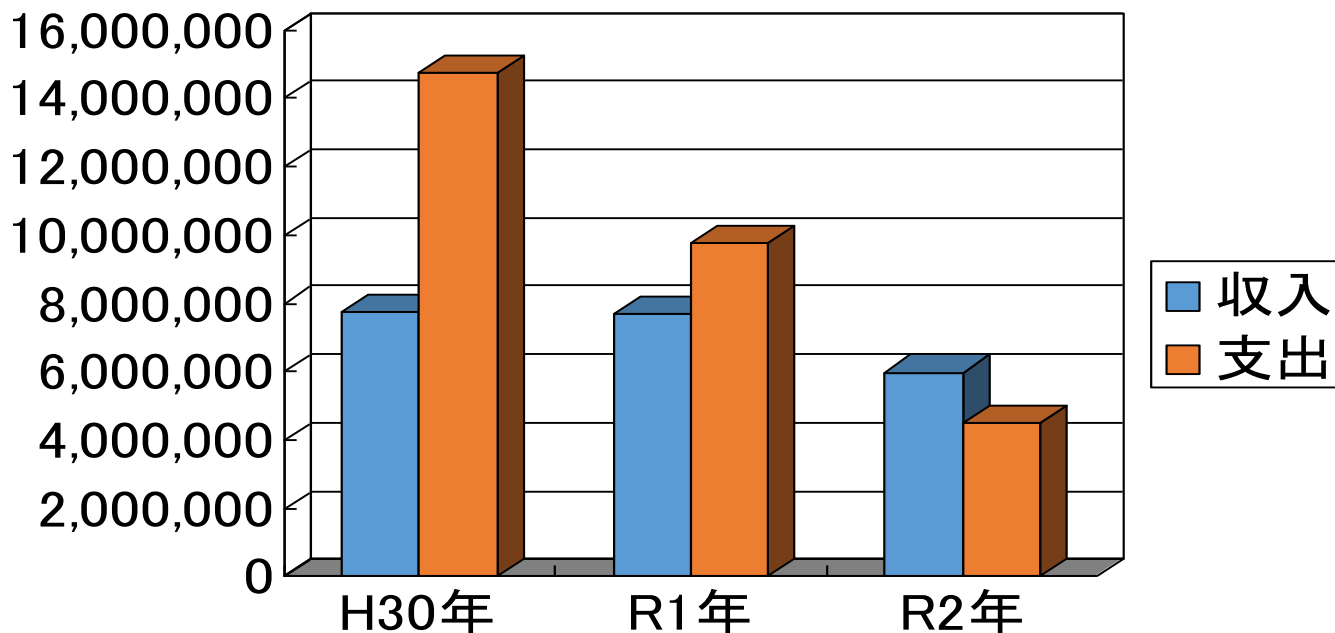
- ◆年間延べ利用者数：858人（前年度より+178人）※予防除く
- ◆訪問調査受託実施件数：年間74件（前年より－54件）
※認定期間が、2～3年に延びているため全体に減少傾向にある。

新規者：29人（前年より、－13人）
解約者：26人（前年より、－5人）
<理由>
死亡16人・入所7人・介護保険終了3名



◆訪問介護事業 (収入) 5,923,087円－(支出) 4,486,597円＝(差額) 1,436,490円

○介護保険における要支援・要介護者に対し、ケアプランに基づき、サービスを提供しました。



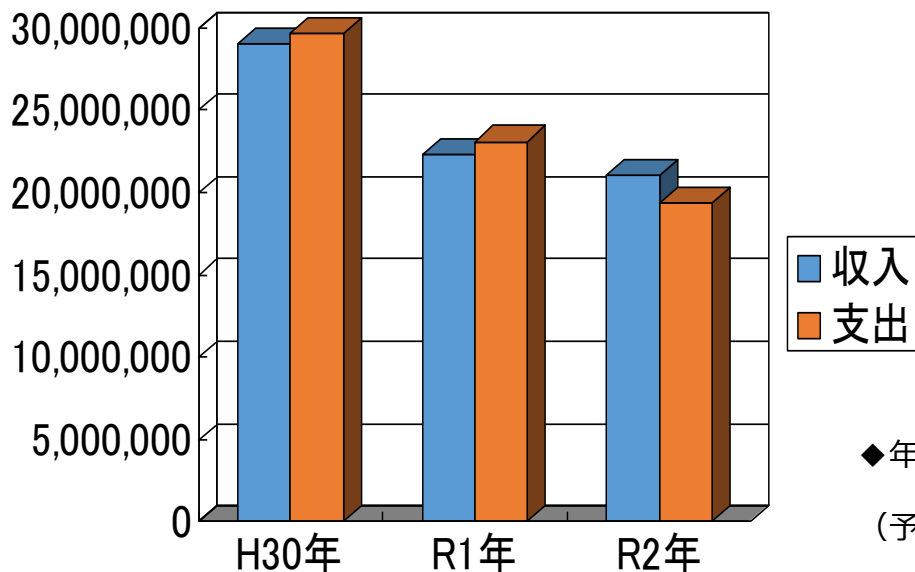
○令和2年度で事業を休止するため、12月以降は登録者を他の事業所に移すなど対応し、令和3年3月末日ですべての利用者との契約が終了しました。

◆通所介護事業（地域密着型）

（収入）20,989,412円－（支出）19,150,998円＝（差額）1,838,414円

○送迎・入浴・食事・レクリエーションを通して日常生活動作訓練を実施。（定員18名）

☆運営推進委員会 委員5名（利用者・家族など）



	第1回	第2回
開催日	令和2年9月23日	令和3年2月24日
参加人数	5名	5名

新規者：14名（予防8名・給付6名）

解約者：11名 ※事業所変更1名・死亡5名・入所5名

◆年間延べ利用件数：2,774件 （前年比 △123件）

（予防：1,326件（+42件）・給付：1,448件（△165件））

◆高齢者自立支援デイサービス事業（自主事業）

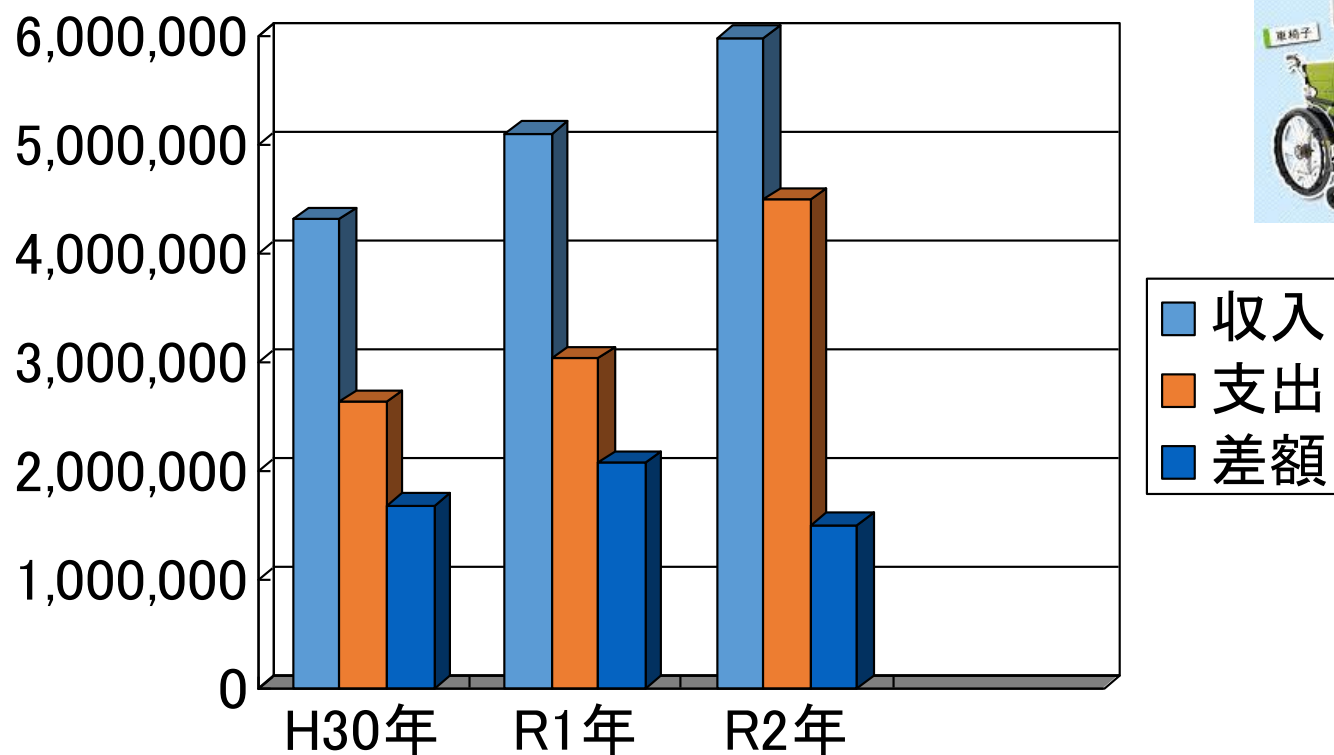
（収入）93,120円－（支出）42,376円＝（差額）50,744円

要介護状態等への移行を予防するため、公的サービスとは別に契約して通所サービスを提供しました。

新規利用者 1名 解約者 0名 （施設入所） 利用者 2名

◆福祉用具貸与事業 (収入) 5,626,780円－(支出) 3,684,972円＝(差額) 1,941,808円

※事業活動による支出の大半は、消毒等の作業を外部の業者に委託している委託費の支出。



◆新規：22名 (予防8名・給付14名)

◆解約：18名 (予防2名・給付16名)

◆年間延べ利用件数：418件 (+6件)

(予防：49件 (+31件) ・ 給付：369件 (−25件))

《障害者支援事業》

◆障害者自立支援事業（居宅介護・重度訪問介護・行動援護）（収入：558,280円）△670,480円

障害者が自宅において日常生活を営めるよう、家事の代行や病院の付添いなどの支援をしました。

<3月31日>

利用者	サービスの種類	件数
新規者 0名	家事援助（買物・掃除など）	4件
継続者 4名	通院介助（身体介護）	0件
合計 4名	通院等乗降介助	0件

※令和2年度末で休止のため、年度内で利用者は他の事業所へ変更となる。

◆一般相談・指定特定相談支援事業

障害者からの相談に応じ、必要な助言・情報提供やサービス利用に向けた計画の作成を行いました。

（一般相談支援事業）

障害施設入所者や精神科病院へ入院している方が、退所・退院し、地域で安心した生活をしていくために関係機関と連携して相談や助言を行う。

件数	0件
----	----

（特定相談支援事業）（収入：181,090円）△102,890円

福祉サービス利用のために必要な計画を作成する。

利用者	人数
新規利用者数	0名
継続利用者数	3名
合計利用者数	3名（△4名）
終了件数	4件
理由	死亡 施設入所 介保へ

◆地域生活支援事業：委託事業 受託金収入：2,671,698円 (△277,032円)

(相談支援事業・通学通所支援事業・日中一時支援事業・生活サポート事業)

【目的】

在宅により生活する障害者及びその家族の地域における生活を支援し、障害者等の社会参加の促進を図るため実施しました。

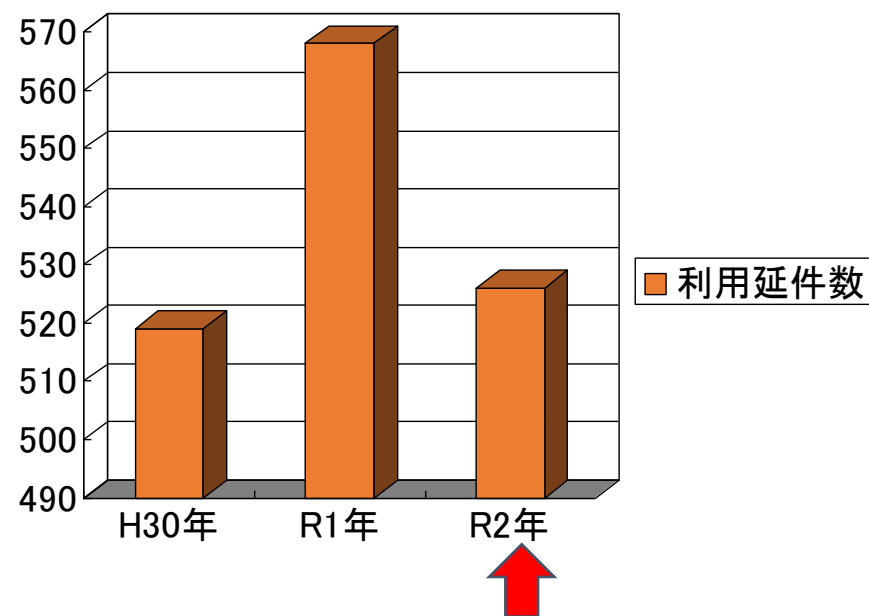
事業名	利用者数 (名)
相談支援事業	1
通学通所支援事業	0
日中一時支援事業	10
生活サポート事業	7

障害区分	利用者数 (名)
知的障害	8
身体障害	2

※ 10名のうち、土曜日を利用しているのは7名は24歳から66歳と年齢層に幅があり、障害者の地域交流に役立っています。

◆日中一時支援事業年間延べ利用件数：568件
(前年比－42件)

日中一時支援 収入2,424,460円 (△321,470円)

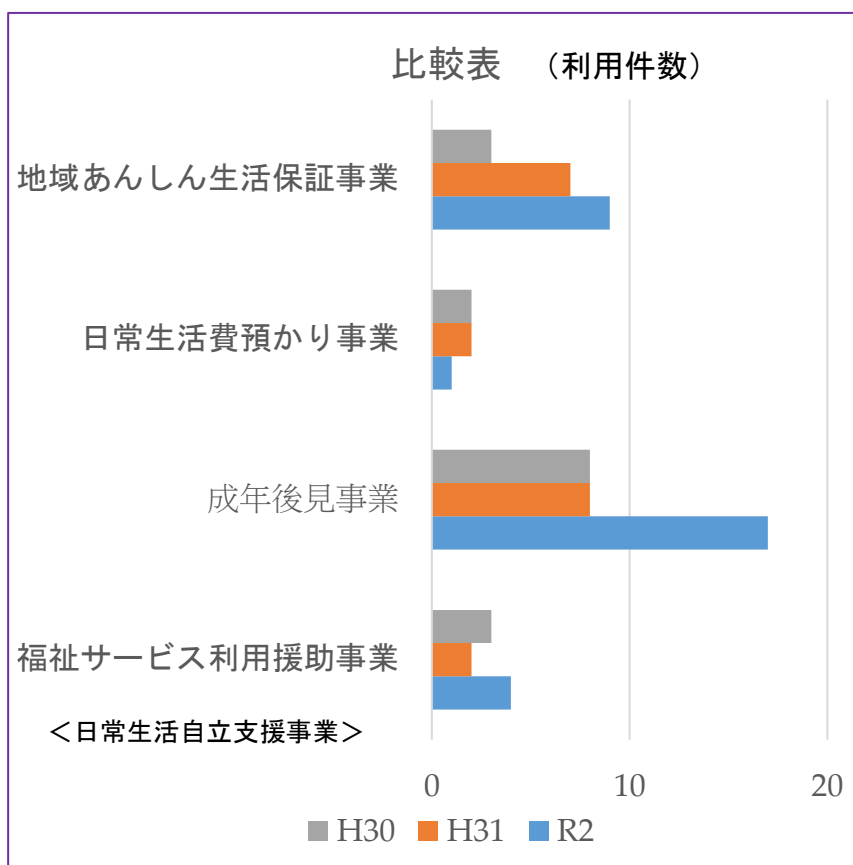


利用登録者数：10名の内、3名が終了したことにより利用件数が減少する。
(施設入所 2名)
(死 亡 1名)

《在宅福祉事業》

○判断能力が不十分な方々に対し、安心して日常生活が送れるよう相談・支援などを実施しました。

- ①地域連携ネットワーク構築事業（委託事業：鯉ヶ沢町・深浦町）※委託料：6,000,000円
- ②地域あんしん生活保証相談機能（自主事業）
- ③日常生活自立支援事業の充実（委託事業：青森県社協）※委託料：350,000円
- ④法人後見の充実（自主事業）



(R2年度)
 地域あんしん生活保証事業件数： 9件
 新規受任件数： 3件
 終了件数： 1件

(R2年度)
 日常生活費預かり事業件数： 1件
 新規受任件数： 1件
 終了件数： 2件

(R2年度)
 法人後見受任件数： 17件（後見：13件 保佐：3件 補助：1件）
 新規受任件数： 9件
 終了件数： 2件

(R2年度)
 福祉サービス利用援助事業： 4件（昨年2件）
 新規受任件数： 3件
 終了件数： 1件（後見事業へ）

○権利擁護センターあじがさわの運営

☆地域連携ネットワーク構築事業の実施（委託事業：鰯ヶ沢町・深浦町）

29

○運営委員会の開催（年1回）

- 権利擁護センターあじがさわ第1回運営委員会
日 時：令和3年3月24日（水）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室
参加者：19名
内 容：説明「権利擁護支援から身元引受・保証」
令和2年度事業実績報告について
令和3年度事業計画について



○検討・専門的判断会議の開催（年13回）

- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年4月9日（木）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室
参加者：8名
内 容：1次相談窓口、2次相談窓口の役割・検討・専門的判断会議の実施方法・令和2年度の事業計画・支援協議（鰯ヶ沢町1件・深浦町4件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年5月20日（水）10時00分～
場 所：深浦町保健センター 会議室
参加者：8名
内 容：4月分実績報告
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年6月24日（水）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室
参加者：8名
内 容：5月分実績報告・支援協議（鰯ヶ沢町1件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（深浦町1件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年7月28日（火）10時00分～
場 所：深浦町保健センター 会議室
参加者：7名
内 容：6月分実績報告・支援協議（鰯ヶ沢町1件）
モニタリング・バックアップ検討・専門的判断（鰯1・深1）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年8月24日（月）13時30分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター 会議室
参加者：8名
内 容：7月分実績報告・支援協議（鰯ヶ沢町1件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年10月2日（金）13時30分～
場 所：深浦町フィットネスプラザゆとり
参加者：9名
内 容：8月分実績報告・支援協議（鰯ヶ沢町2件・深浦町1件）
- 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議
日 時：令和2年10月19日（月）13時00分～
場 所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター会議室
参加者：9名
内 容：9月分実績報告・モニタリング・支援協議（鰯ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和2年11月27日（金）13時00分～

場 所：深浦町保健センター

参加者：9名

内 容：10月分実績報告・支援協議（深浦町1件 鰺ヶ沢町1件）
本人にふさわしい成年後見制度の利用に向けた検討・専門的判断
（深浦町1件）・モニタリング・バックアップの検討専門的判断
（鰺ヶ沢町1件 深浦町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和2年12月10日（木）13時30分～

場 所：鰺ヶ沢町総合保健福祉センター会議室

参加者：8名

内 容：11月分実績報告・支援協議（鰺ヶ沢町2件）
本人にふさわしい成年後見制度の利用に向けた検討・専門的判断
（鰺ヶ沢町1件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（鰺ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和3年1月21日（木）13時30分～

場 所：鰺ヶ沢町総合保健福祉センター会議室

参加者：8名

内 容：12月分実績報告・支援協議（鰺ヶ沢町1件 深浦町3件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断（鰺ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和3年2月15日（月）10時00分～

場 所：深浦町フィットネスプラザ

参加者：9名

内 容：1月分実績報告・支援協議（鰺ヶ沢町4件 深浦町1件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（鰺ヶ沢町1件）
相談・西北地域自立相談窓口（鰺ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和3年3月15日（月）10時00分～

場 所：深浦町役場文化ホール

参加者：12名

内 容：2月分実績報告・支援協議（鰺ヶ沢町3件
深浦町3件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（鰺ヶ沢町2件 深浦町2件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日 時：令和3年3月24日（水）15時00分～

場 所：鰺ヶ沢町総合保健福祉センター会議室

参加者：10名

内 容：支援協議（鰺ヶ沢町1件）



◆権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築し、判断能力が不十分な方や身寄りがなく将来に不安を抱えている方等、権利擁護支援を必要とする人を早期に発見し適切に必要な支援につなげられるよう、一次相談窓口、二次相談窓口を周知するためにコロナ対策を図りながら研修を開催しました。

年月日	テーマ	対象	参加人数	開催地
令和2年 6月9日	権利擁護支援研修	深浦町グループ ホーム職員	12	深浦町
7月27日	同上	鯉ヶ沢社協 赤石支部役員	9	鯉ヶ沢町
7月28日	介護支援専門員研修	深浦町 介護支援専門員	11	深浦町
7月29日	権利擁護支援研修	鯉ヶ沢社協 舞戸支部役員	17	鯉ヶ沢町
7月30日	同上	鯉ヶ沢社協 中村支部役員	16	同上
8月4日	同上	鯉ヶ沢社協 鳴沢支部役員	22	同上
8月5日	同上	鯉ヶ沢社協 鯉ヶ沢支部役員	18	同上
8月6日	同上	鯉ヶ沢社協 南金沢支部役員	9	同上
令和3年 2月15日	身元引受人・保佐人のあり方と高齢者の権利を守る 成年後見制度	深浦町 民生委員、 医療機関、介護保 険事業所	27	深浦町

＜全9回開催 延べ141名参加＞

○各種貸付事業など○

(在宅福祉事業)

32

◆生活福祉資金 (青森県社会福祉協議会からの事務委託)

低所得世帯等に対して、他からの借入が困難で償還可能で自立が見込まれる世帯を対象に貸付を行いました。

資 金 名 (内容)	申込件数
総合支援資金 (失業者に対して生活再建までの間に必要な生活費等)	0 件
福祉資金 (生業、就職、技能取得等に必要な経費等)	
教育支援資金 (高校、大学、高専に修学するために必要な経費等)	
不動産担保型生活資金 (一定の居住用不動産を有しその住居に住み続ける高齢者世帯への生活資金)	
緊急小口資金特例貸付 (新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯への生活資金：上限20万)	16 件 (2 件不可)

◆たすけあい資金

低所得世帯等に対して、世帯の更生に必要な資金の貸付を行うことにより経済的自立の助長を図るため貸付を行いました。

資金種類	申込件数	貸付金額
①生活資金	0 件	0円
②支度資金	0件	0円
③医療資金	0件	0円
④職員資格取得資金	0件	0円
(償還状況)	0 件	0 円

①～③貸付額： 50,000円まで (1年以内の償還)

④貸付額： 200,000円まで (2年以内の償還)

・貸付状況<過年度分含>

↓ (償還運動 (年2回) : 文書通知・訪問など)

資金種類	R2申込件数	貸付残額	償還金額	残件数	残 額
生 活 資 金	0 件	130,000円	0円	1件	130,000円
支 度 資 金	0件	321,000円	2,000円	3件	319,000円
医 療 資 金	0件	150,000円	2,000円	2件	148,000円
職員資格取得資金	0件	10,000円	10,000円	0件	0円
合 計	0 件	611,000円	14,000円	6件	597,000円

令和2年度末
貸付残高

597,000円
(611,000円)

() 内はR元年度

○自主事業○

◆外出支援サービス事業 (ケア輸送運賃収入) 306,900円

2種免許所持者が、通院及び転院・施設からの帰省など、公共の交通手段での移動が困難な方への支援を行いました。

○料金：時間制運賃（小型）15分1240円（大型）1750円※障がい手帳等所持者1割引き○

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ケア輸送	25	31	13	16	11	15	9
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
	8	8	4	15	9	164	

(前年比－45件)

◆生活支援サポート派遣事業 (登録者：9名) 事業収入：32,550円

介護保険等のサービスで対応できない方に独自の事業として、在宅生活の維持を目的に実施しました。

○料金：10分(200円)×1時間(1,000円)×15分毎(350円)○

内 容	件 数	内 容	件 数	内 容	件 数
日常のゴミ出し	2件	草刈り	1件	入 浴	1件
通院介助	5件	洗 濯	1件	除 雪	1件

※1人が複数の内容を依頼もあり

◆車椅子貸与事業 収入：0円

プルタブで交換して得た車椅子を無料で貸与しました。(最長1ヶ月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
貸出件数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3

○福祉講座事業○

◆福祉有償運送運転者講習 参加費収入：84,000円

○受講料：12,000円

普通1種免許所持者が旅客運送（介護輸送）を行う場合に必要な講習会（国土交通省認定）を実施しました。

日 付	人 数
4月13日（土）	7名



※令和2年度は2回を予定していたが、1回のみの開催となる。

○ボランティア関係事業○

◆イベント募金活動◆ ○募金額：16,529円

令和2年10月3日（土）に、海の駅わんど前にて11時30分から1時間程度、街頭募金を実施。今回はコロナに配慮し学生ボランティアは不参加でした。

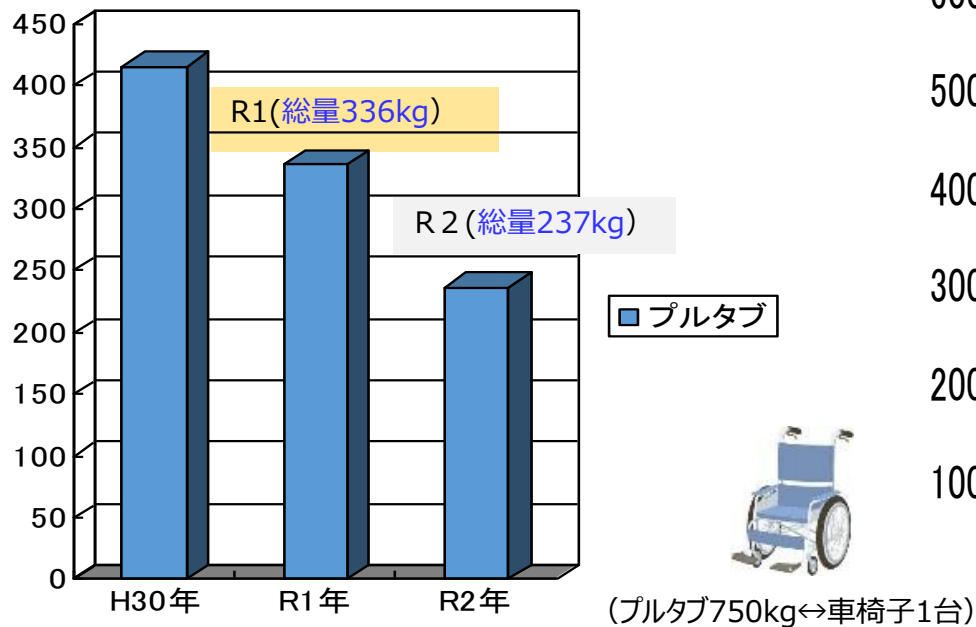


◆ボランティア団体等の支援◆

地域福祉推進に関するボランティア団体等に対し、一層の活動の充実につながるよう支援しました。

- ①ホームページや社協広報を利用してボランティア情報の提供しました。
- ②ボランティア団体等への活動費助成（1団体30,000円まで×6団体程度）
- ③実績（1件）・鰯ヶ沢町身体障害者福祉会（助成額：30,000円）

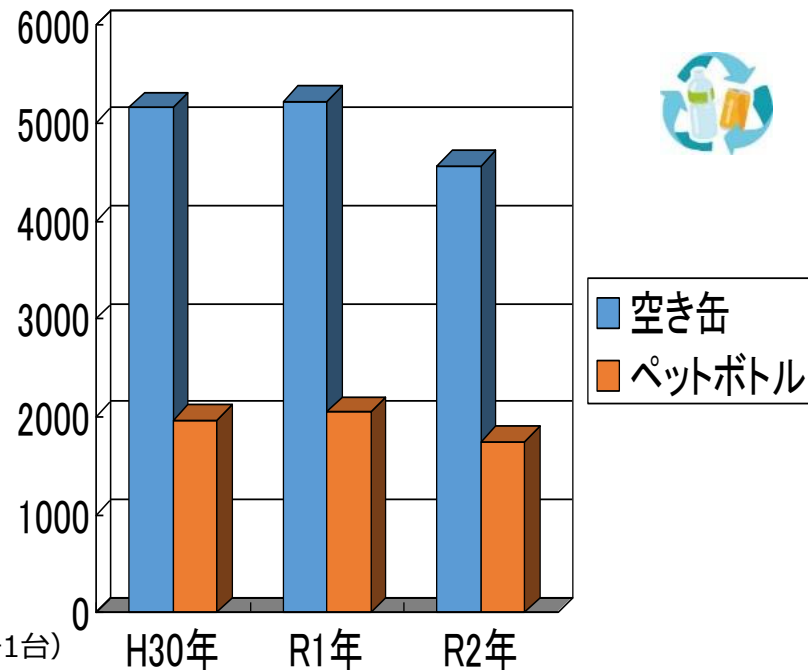
◆ボランティア関係事業



- ・プルタブ協力延べ人数：144人 31団体
- ・古切手回収協力延べ人数：18人 2団体

令和2年度：古切手回収量(3,5kg)

※前年度より1,1Kg増加



<令和2年度>

空き缶：4,570Kg ペットボトル：1,750Kg

△650Kg

△300Kg

売上金 158,701円 (税込) /年間
(△22,985円)

総合保健福祉センター管理・経営

- ・役員・評議員等研修会**

【団体事務】

- ・西津軽郡社会福祉協議会**
- ・鯺ヶ沢町老人クラブ連合会**
- ・鯺ヶ沢町身体障害者福祉会**

◆総合保健福祉センター管理・経営

貸館状況（有料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
会 議 室	2	0	1	0	1	2	0	1	2	1	0	2	12 (-8)
栄養指導室	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0	8 (-1)
和 室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利 用 人 数	19	0	10	20	29	72	20	20	21	10	0	31	18 (-10)
													252(-227)

<センター管理維持> センター周辺草刈 ・ 窓ふき掃除など適宜実施

◆役員・評議員等研修会

日 時	場 所	参 加 者	内 容
令和2年12月8日（火） 13時25分～16時00分	鰯ヶ沢町保険福祉センター （WEB研修） ※県民福祉プラザ4F 県民ホール 	【理事・監事】 3名 【評議員】 6名	令和2年度 社協役職員・監事等研修会 ①不祥事の発生・再発防止の徹底 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 水谷誌帆氏 ②基調報告 「市区町村社協経営方針の改定等を踏まえた社協事業の展開」 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長 高橋良太氏 ③講演 「すべての人々が幸せであり続けるために私たちができること ～SDGsを市民社会の視点から紐解く～」 講師 一般社団法人 S D G s 市民社会ネットワーク 理事・事務局長 新田 英理子

＜合同避難訓練＞（保健センター・デイサービス・法テラス）

令和2年9月30日（水）14時00分～14時40分

合同で水害及び火災を想定し、消火・避難訓練を実施しました。



◆団体事務

◆鯉ヶ沢町老人クラブ連合会事務

町内単位老人クラブ（24ヶ所）と連合会事業を通じて連携を図りました。

（※令和2年度は委託料なし）

◆鯉ヶ沢町身体障害者福祉会事務

町内の障害者福祉団体の運営支援

委託料：なし

◆西津軽郡社会福祉協議会（広域事業）

深浦町社協と協働で、広域的に住民の福祉意識を高めることを目的に実施しました。

○ふれあい交流広場（愛の輪レクリエーション：県社協指定事業）

※活動自粛により未実施